

2018（H30）年度 学校関係者評価報告書



2019年2月

学校法人帯広コア学園

帯広コア専門学校

2018年度 学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員会

- ・開催日時 2019年2月20日(水) 16:00～17:00
- ・開催場所 帯広コア専門学校 23教室

学校関係者評価委員(敬称略)

| 氏名 | 所属 | 属性 |
|-------|------------------|-----|
| 奥野 淳一 | 帯広北高等学校長 | 高校 |
| 鈴木 義尚 | 帯広商工会議所 事務局長 | 団体 |
| 奥 康裕 | (株)ズコーシャ IT事業部部长 | 企業 |
| 南出 雅樹 | (有)マミィ 代表取締役 | 卒業生 |

(欠席)

| | | |
|------|--------------------|-----|
| 成田 貢 | トータルフーズ株式会社取締役管理部長 | 保護者 |
|------|--------------------|-----|

事務局

| | |
|--------|--------|
| 神山 恵美子 | 理事長兼校長 |
| 村川 貴康 | 事務長 |

2. 評価対象期間

自:2017(平成29)年4月1日
至:2018(平成30)年3月31日

3. 実施方法、配布資料、公表

学校関係者評価の実施にあたっては、学校関係者評価委員の皆様へ「学校自己評価」の結果について事務局より説明し、評価結果に対するご意見をいただきました。いただいたご意見は、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の質向上に努めることとし、ホームページ等に公表致します。

(資料)

- ・平成29年度事業報告資料
- ・帯広コア専門学校 自己評価報告書
- ・学校パンフレット一式

4. 評価基準毎の学校関係者評価

・前年度ご指摘がありました学校自己評価の点数の付け方について、客観的に付けるよう十分留意して評価することを周知しました。

評価項目毎に委員からの評価について報告します。

全員から基準1から基準10まで適切であると評価を受けました。

評価委員個々に意見をいただきましたので各項目について報告します。

(1) 教育理念・目的・育成人材像等

・社会環境の変化に対応して検討を加えているとのことであるが、時代に合わせて地域のニーズに応じて変化していくのは良いことである。

(2) 学校運営

・就業規則等の制度を見直していることは良いことである。
・学生募集活動がポイントであり、次年度の状況を聞くと上がってきていると思われる。

(3) 教育活動

・教育到達レベルの判断が難しい学生もあり、個々の学生に合った資格取得到達目標設定が大切である。
・学生に関する（キャリア教育の視点）で自己評価が4となっているのは評価できる。

(4) 教育成果

・学生に関して、その後の活躍を把握していくことで、今後の教育活動につながる。

(5) 学生支援

・学生に関する項目（就職に関する体制）で自己評価が4となっているのは評価できる。

(6) 教育環境

・施設設備の老朽化に伴い徐々に設備の入替え等を検討していくのがいいし、補助金等の活用ができるとうい。

(7) 学生の募集と受け入れ

・地元の子が地元就職できる仕組みづくりは良いことである。
・奨学金を利用している学生が毎年多くなっている。’20年度の高等教育経済的負担軽減制度を利用できるようになるとよい。

(8) 財務

・今年度は新学科（歯科衛生士科）を開設2年目であり予算が厳しいとのことだが、帯広コア学園の監査をしている立場としては、学校の財務状況は健全で監査は適正なものである。

(9) 法令等の遵守

・自己評価の情報公開や就業規則等を見直し中とのことであり、対応はほぼ適切である。

(10) 社会貢献

・ボランティアに参加に積極的になると、熱意がありリーダーシップ高くなる傾向がある。
・学生に関する項目（社会貢献）については、力を入れているようであり良いことである。ボランティアについて業務と明確にすることは大切である。

以上